

福岡縣史資料

福岡縣編

本書は流布本殆んど稀で、僅かに西大寺本、淨住寺本のみであるから、所謂稀觀の書で、古來此書を引用するもの山城名所誌以下僅かに數書のみであつた。されば、今回本書が橋本師によつて西大寺本を玻璃版に附せられた事は、古書普及及び保存の二重の意味に於いて、學界の慶賀すべき事柄であらう。たゞ惜しむことは、形狀の小さいために文字の不明な所がある事で、もう少し大きくかつたならばと思ふ。

併し、編者は別に一冊の讀本を添へて居り、それには詳細な解説もあるから、さきの不便は充分に補ふ事が出来る。

文永五年の條に、

夏竟、參天王寺、爲拂異國難、修種々勤、今年正月異國勝狀到來故也、講覺綱經十重禁戒、八月十九日依平城天皇御宇八幡大菩薩御託宣、於難波浦一百餘輩同音唱南無仁王護國般若波羅密多經一百八遍……

文永十二年三月三日

大神宮二度參詣進發………備蒙古人重來征、故解夏以後引率同法、參詣降伏異率、神社佛寺、修隨分勤行、祈日域安穩正法久住

以下多數藥古來に關する記事がある外に、文永十二年の條に收むる建治九年八月十三日長吏以下七名連署になる非人過分の義を停止すべき由の請文の如きも、一般社會史の好資料であらう。(定價五圓、大和法隆寺鶴敷郷舍發行)(中村直勝)

福岡縣史資料は、伊東尾四郎氏が福岡縣の委囑を受けて編纂したもので、昭和七年六月第一輯が出版されてより八ヶ年に亘つて續刊され、今度その最後の第十輯が出版せられて、こゝに全十冊の完成を見たわけである。

此書の編纂の體裁は、全體を通じて、大體、書目、解題、古代編年史料、地方古文書、近世の記録、明治史料の六項目に分類される。併し、一冊毎に何等かの項目について纏つてゐるのではなく、各冊、夫々の項目に屬するものが隨時載せられてゐるのである。併し、その中に單に一冊のみを抜出して見る時は、かなり雜然としてゐるが、第十輯の終に各項目別の總目錄が附せられてゐるから、それによつて如何なるものがどの輯に入つてゐるかは知り得るわけではあるが、編纂の方法に多少不便さのあるのは免れない。

次に、その内容を見ると、書目の項では、縣内藏書の目錄を擧げ、解題の項では、福岡縣に關係のある書物について簡單な解説をし、古代編年史料の項は太古より、後醍醐天皇の建武元年に至るまでの福岡縣の歴史に關係のある重要な史料を種々の記録及文書中より抽出して編年的に列記されてゐる。地方古文書の項は筑前地方古文書、筑後地方古文書、豊前地方古文書の三項目に分類されてゐるが、夫々の地方の古文書、例へば、筑前の宗像神社文書及宗像大宮司關係文書、麻生文書、筑後の五條家文書、大友

文書、豐前の求著提出文書、黒水文書等の中より重要なものを撰んで各文書別に載せられてゐる。近世の記録は主として藩治に關する記録で、編者も、古代より近代に重きを置くとして述べてゐる如く、福岡藩、秋月藩、久留米藩、柳河藩、三池藩、小倉藩等に關する記録がかなり豊富に載せられてあり、藩治時代の郷土史研究上には多くの資料を提供してゐる。最後の明治史料の項は、明治初年の福岡縣に關する資料を集めたもので、明治初年の變革期に於ける福岡縣の情勢を窺ふに足るものがある。

尙、各冊の卷頭には、重要な文書、寫經等の寫眞版が載せられ、卷尾には、古圖の寫眞版が附載されてゐる。

編纂の方法に多少の混雜があるとは言へ、全十冊に互つて、福岡縣史に關する資料を多方面に互りかくも豊富に集成された編者の勞苦に對して衷心の敬意を表しなければならぬ。この書成つて福岡縣郷土史、更には一般日本歴史研究上に裨益する所、また少なからざるものがあらう。(全十冊、每冊約八〇〇頁、菊版、福岡縣發行)(水野恭一郎)

日向古文書集成

宮崎縣編

近年社會經濟史の研究が進むと共に、史料に對する關心は益々精細になつて來た。けれども史料を披閱することは、種々な事情からして、一般の研究者にとつては必しも容易なことではない。

今こゝに日向古文書集成と題して、宮崎縣關係の古文書を集成大成

して、一般に公にせられたことは、貴重な史料の披閱を容易ならしめ、學界を益すること大なるものがあることを思ひ、喜びに堪へない次第である。

本書に收められた古文書は、大別して三つに分類されて居る。

第一類は、縣内に現存する古文書を收め、第二類は、薩藩舊記・日向記の舊記類に收むる古文書を探採し、第三類は、縣外に遺存する古文書の中より宮崎縣關係のものを摘取して居る。今各類に收められて居る文書を挙げれば次の如くである。

第一類

大光寺文書、富山文書、土持文書、島津伯爵家所藏文書、町田文書、金剛寺文書、秋月文書、田尻文書、霧島神宮文書、樺山文書、排宿文書、伊東文書、垂水氏舊藏伊東文書、長谷場文書、比志嶋文書、行藤神社文書、島津男爵家所藏文書、青島神社文書、伊勢文書、養門寺文書

第二類

新編福庭氏世錄正統系圖所收文書、入田系圖所收文書、薩藩舊記所收文書、日向記所收伊東文書

第三類

伊賀國古文書、東寺文書、政所惣檢核益永家職掌證文寫并諸事、宇佐八幡大神宮御造替中古證類、前田侯爵家所藏文書、丹後安國寺文書、志賀文書、天龍寺造替記録、妙本寺文書、後藤家古文書、大友文書、五條文書、阿蘇文書、相良文書、島津公爵家所藏文書、島津公爵家所藏樺山文書、色川本島津文書、北郷文